

学習形態 新型コロナウイルス非常事態のためネット上で講義。自学。

テーマ 『教行信証』とは何か。

— 『教行信証』撰述の意図 —

『化身土巻』について

課題 26 この『巻』にだけ、そして「19願」にだけ「この願成就の文は・・・」と丁寧
に記せられているのはなぜか。また「20願」に「願成就文」という言葉がない
のはなぜか。

課題 27 「四依」が取り上げられている意味を考える。

課題 28 p358「邪偽異執の外教を教誡す」ということと p368「外教邪偽の異執を教誡す」
ということを相対させると、教誡されるのは外教と異執であり、邪偽が教誡され
るとは述べていない。この相違をどう理解すべきか。その根拠になるのが「真化
を顕開して」と「真偽を勘決して」という言葉です。

ヒント p345に「しかれば、如来、世に興出したもうゆえは「恒沙の諸仏の証護の正意」
ただこれにあるなり。〈中略〉真宗念仏を開きて濁世の邪偽を導く」とある。

ヒント これが「後序」に行き着く。「真化の門戸を知らず」「行に迷うて邪正（真偽）の
道路を弁うることなし」という現実批判としての論拠が上記の内容であろう。

課題 29 いわゆる「三願転入」は何を物語っているのか。

課題 30 『化身土（末）』とは何か。

課題 31 p398の文、「後序」の文と呼ばれているが、果たしてこの文章は序文なのか。
親鸞聖人は「序」とは言っていない。序文でなければ、一体何なのか。

ヒント 内容は、親鸞聖人の身の上にかつた出来事が綴られているが、年代はばらばら
である。

ヒント 經典に対する科文は、序分・正宗分・流通分となっている。この流通分にあたる
とみることはできないのか。（参考；序分には全体にわたる総序・その部分のための別序という分
類もある。善導の『序分義』では証信序・発起序・化前序の三序に数えている）

結び